

STORY 2

「菊池川大河物語②」

～菊池川と豊穡の実りの物語～

Route

「菊池川の豊穡の実り 「米」の昔と今を知る旅」



豊穡な土地ゆえ
生まれ育った
天下一の米

全国的に高い評価を得ている菊池川流域の米は、古く江戸時代より「天下一の米」と称され、皇室や将軍に献上されていた。この米づくり文化と土壌は、食生活ならず暮らしや文化にも影響を与えている。豊穡な土地が生んだ米及び米にまつわる歴史や文化、施設などを、古来より現在にかけて紐といてゆく。

玉名市



高瀬船着場跡

米の積出港として発展をとげた場所。年貢米を大阪堂島の肥後藩の蔵に運ぶため、品質をチェックする高瀬御蔵が作られ、菊池川流域などで収穫した米を集積していた。

山鹿市



惣門地区

回船問屋や米問屋、酒蔵などが軒を連ね栄えた豊前街道で、防犯のため街道の夜間通行を止めるために設置した「惣門」があった地区。

菊池市



築地井手

加藤清正が作らせた菊池川水系の中で最古の井手。菊池川の水を取り込み、隈府の南側を通り下流の水田地帯を潤すための水路として設置。菊池米づくりを支える役割を担う。

山鹿市



歴史公園 鞠智城

大宰府政庁を護るために築いたと考えられる鞠智城は、大野城や基肄城などへの食料や武器、兵士などの支援地としての役割を担っていたと考えられている。